

## 活性化モデル商店街の概要

商店街名：柴田商店街振興組合

### ●キャッチフレーズ

様々な層のお客に対応できる地域に根付いた「賑わいあるコミュニティ商店街」

## ◎商店街の将来ビジョン

### 【現状】

商店街が立地する学区においては、定住人口の減少と少子高齢化が進行している。

### 【課題】

商店街が行ったアンケートでは、買い物場としてだけではなく、人が集う地域交流の場としても地域住民から期待されている。地域全体で少子高齢化が進んでおり、子育て支援や高齢者の健康増進などの地域に貢献する取組みを進める必要がある。

### 【対策】

商店街エリア内に地域交流拠点センターを整備し、地域コミュニティ活動の拠点とするほか、年間を通して高齢者、子育て世代をターゲットにしたイベント等を実施することで、商店街がリーダーシップを発揮して地域住民と商店街との関係性をさらに深めていく。

## ◎具体的に取組む事業内容

○地域交流拠点センター整備を中心とした地域に密着した商店街づくり（28年度）

地域交流拠点センターの整備、地域交流イベント（七夕まつり等）の実施

○地域交流拠点センターを中心とした地域に密着した商店街づくり（29年度～32年度）

地域交流拠点センターの運営、地域交流イベント（七夕まつり等）の実施